



どんな会社だ?! 社員の約4人に1人がフルマラソン完走。

走り出したら止まらない! おたふく手袋の正体

~創業100年目の老舗企業、社員85名中21名がフルマラソンに挑戦、完走率は驚異の95%~

作業用手袋・インナーウェアなどを展開するおたふく手袋株式会社（本社：大阪府箕面市、代表：井戸端 勇樹 以下おたふく手袋）は、創業100年目を迎える2026年、少し変わった企業文化として「マラソン大会への挑戦」を継続しています。



マラソン大会初出場。2019年・淀川寛平マラソン

「手袋の会社なのに、なぜか走る。」

そんなツッコミが聞こえてきそうですが、実はこれ、2019年から続く社内の恒例行事です。

これまでに「淀川寛平マラソン」への出場を皮切りに、2022年～2025年には神戸マラソン、2025年琵琶湖マラソン、2026年には丹波篠山マラソンと、各地のフルマラソンに社員が続々と参戦。

参加は強制ではなく、あくまで自主的なもの。
それでも自然と仲間が増え、今では部署を超えた交流の場としても定着しています。



2023年・神戸マラソン



2025年・神戸マラソン



2026年・丹波篠山マラソン

そして現在…

社員 85 名中、フルマラソンに挑戦した社員は 21 名（約 25%）。

社員の 4 人に 1 人がマラソン経験者！マラソン完走率は驚異の 95%！

もはや「ちょっと走る会社」ではなく、「普通に走れる人が多い会社」です。

もちろん、元々スポーツ企業というわけではありません。

きっかけはほんの軽いノリだったはずが、「せっかくなら完走したい」「次は自己ベスト更新」と、いつの間にか本気モードに。

ですがこの“やり切る力”こそ、当社のものでづくりや営業活動の根幹でもあります。

創業以来 100 年、少数精鋭で培ってきた「まずやってみる」「最後までやり抜く」という文化が、仕事にもマラソンにも表れているのです。

応援・参加ともに一体感が生まれ、社内のコミュニケーション活性化にもつながっています。

100 年続く企業でありながら、どこか軽やかで、ちょっと面白い。

そして気づけば本気で走っている。

おたふく手袋はこれからも、仕事にも挑戦にも、そして時には本当に、全力で走り続けます。

■おたふく手袋について

おたふく手袋株式会社は、1926 年に軍手製造会社としてスタートしました。

軍手から革手袋、加工手袋など作業用手袋全般の取り扱いをし、作業用手袋のワンストップソリューション会社として業界のリーディングカンパニーとなっています。

現在は靴下・安全靴・レインウェアと手袋だけにとどまらず販売アイテムを拡充し、機能性インナーウェア「BODY TOUGHNESS®」や、ワーク&アウトドアブランド「FUBAR®」を展開しています。

■会社概要

商号：おたふく手袋株式会社

年商：79 億 6,600 万円 従業員：85 名 ※2025 年 3 月時点

本社所在地：大阪府箕面市船場東 3 丁目 11 番 22 号

ホームページ：<https://www.otafuku-glove.jp/>

X：https://x.com/OTAFUKU_GLOVE

Instagram：https://www.instagram.com/otafuku_glove/

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

おたふく手袋株式会社 広報担当 岡本

TEL：072-728-1111

MAIL：okamoto@otf.co.jp